



大倉小学校卒業式にて



# 議会だより

NO.73  
平成24年4月15日

◎ 3月定例会

平成24年度当初予算・条例改正・請願審査等……p2～p3

◎ 予算特別委員会・審議結果報告……p4

◎ 一般質問……p5～p10

◎ 議会活動、一部事務組合報告……p11

◎ 市民の声・ぎかいウォッチング……p12

むらやま「議会だより」は健全で開かれた議会を実現するために、情報の開示を主目的とし、議員による編集を経て年4回発行しています。

# 平成24年第1回定例会

## 新年度予算総額

# 186億3千510万円

## クアハウス基点大浴場新築など大改修 大久保小学校改築事業に着手

新年度予算などを審議する平成24年第1回市議会定例会が3月2日から3月21日までの20日間の日程で開かれました。  
本会議の初日に市政運営の基本方針と新年度予算編成の概要などについて説明した。

その中で佐藤市長は、平成24年度を「元気再生の年」と位置づけ、子どもたちも夢を持てる施策、ここに生まれてよかったなと思える施策を展開していくと述べ、一般会計予算、国民健康保険事業特別会計予算など当初予算9件、補正予算8件、条例の一部改正など15件を提案、これを受け、新年度予算案については、予算特別委員会に付託しました。  
慎重審議の結果、上程された議案を原案通り可決しました。  
また、追加議案として除雪委託料の追加などに伴う一般会計補正予算及び議員発議3件を可決し、閉会しました。

### 条例関係

▼村山市暴力団排除条例（暴力団の排除を推進し市民の安全で平穏な生活を確保するため）  
▼公有地の拡大の推進に関する法律第四条第二項第九号に規定する政令で

定める規模の特例に関する条例（県の権限委譲に伴い土地譲渡の届出要件の根拠となる条例を定める）  
▼村山市市税条例の一部改正（地方税法の一部改正に伴い、一定期間、個人の市民税の均等割の税率

を加算するなどの改正）  
▼村山市入湯税の課税の特例に関する条例の一部改正（東日本大震災の被災者等に対する入湯税の課税免除の特例期間を延長するため）  
▼村山市社会教育条例等の一部改正（関係法律の

改正に伴い公民館運営審議会委員等の委嘱基準等を定めるため）  
▼村山市スポーツ振興審議会条例の一部改正（スポーツ振興法の全部改正に伴い審議会の名称を改めるため）

☆村山市児童館条例の一部改正（老朽化に伴い、洗心児童館を廃止するため）

▼村山市児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部改正（児童数の減少による遊具の利用低下及び老朽化に伴い、南河島児童遊園を廃止するため）

▼村山市福祉医療費の支給に関する条例の一部改正（保険対象医療費の完

全無料化を小学4年生まで拡大するため）

▼村山市介護保険条例の一部改正（介護報酬の改訂等に伴い、介護保険料の見直しを行うため）

▼村山市市営住宅管理条例の一部改正（公営住宅関係法令の改正に伴い条文を整備するため）

▼村山市火災予防条例の一部改正（関係法令の一部改正に伴い危険物審査手数料等を定めるため）

### 平成23年度一般会計補正予算

予算総額	118億 1,595万円
8号補正（減額補正）	△ 8,278万円
9号補正（追加補正）	5,900万円
(参考)	
除雪委託料総額	2億 9,000万円

### 補正予算関係

平成23年度補正予算関係では、一般会計で歳入歳出それぞれ8千278万5千円を減額し歳入歳出予算の総額を、117億5千695万6千円とした。

なお、議会最終日に追加議案が提出され、一般会計の歳入歳出にそれぞれ5千9百万円を追加し、歳入歳出予算の総額を118億1千595万6千円とした。

そのなかで、除雪費の委託料は、例年になく豪雪に対応し、専決処分と追加補正予算を含めた除雪委託料の総額は、2億9千万円とした。

### 市道路線の認定等

▼認定路線（駅西中央線など9路線）  
▼廃止路線（富並楯裏線など2路線）（付替え）

### 請願

▼豪雪被害対策にかかる意見書の提出に関する請願

▼消費税増税に反対する意見書の提出を求める（採 択）





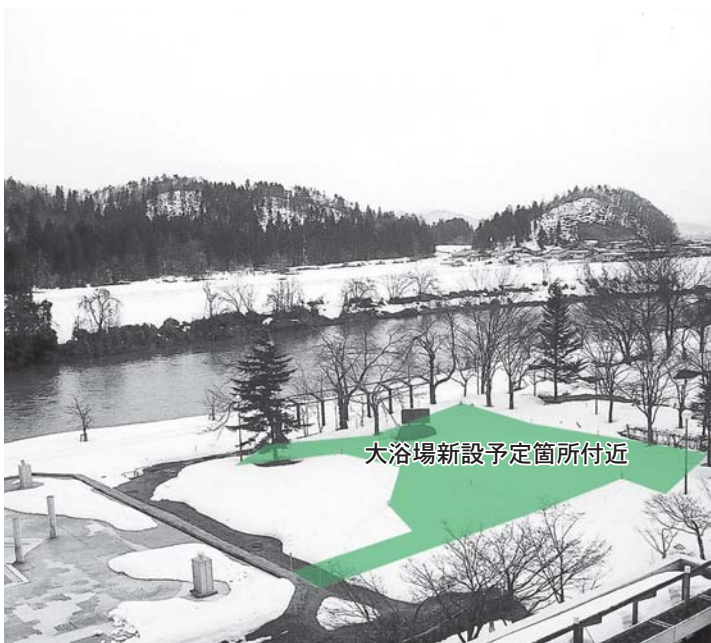
能登議長

- 請願  
(継続審査)  
▼ 情報通信基盤の未整備  
地域の早期解消を求め  
る請願 (採 択)
- 人事案件  
▼ 人権擁護委員候補者の  
推薦 大場ちが子氏  
(富並)を推薦すること  
に同意 (川越正信委員  
の任期満了による)
- 議員発議  
▼ 豪雪被害対策に係る意  
見書  
▼ 国が行うべき事業への  
単独上乘せ分への補助  
を求める意見書  
▼ 情報通信基盤の未整備  
地域の早期解消を求め  
る意見書

## 新年度の主な事業

(単位：万円)

- |                                       |                |                                   |               |
|---------------------------------------|----------------|-----------------------------------|---------------|
| ① クアハウス基点改修事業<br>(大浴場新築工事など)          | 44,992<br>(新規) | ⑦ 大久保小学校校舎整備事業<br>(改築に伴う実施設計など)   | 3,500<br>(新規) |
| ② 子ども手当支給事業                           | 37,858         | ⑧ 楯岡小学校耐震化事業                      | 2,959<br>(新規) |
| ③ 市道改良・新設改良事業<br>(徳内シーボルトライン、駅西中央線など) | 33,087         | ⑨ 除雪車購入事業<br>(ロータリー除雪車1台)         | 2,620<br>(新規) |
| ④ 中小企業振興資金貸付金<br>(緊急経済対策分 8,000 万円増加) | 20,000         | ⑩ スクールバス購入事業<br>(平成25年大倉小学校の統合関係) | 2,000<br>(新規) |
| ⑤ 保育所運営委託事業                           | 10,409         | ⑪ 産婦、乳児1か月健診助成事業                  | 1,552<br>(新規) |
| ⑥ 子育て支援医療給付事業                         | 6,872          |                                   |               |



大浴場新設予定箇所付近

### 主な事業の概要

今年4月で昭和57年オープン以来30年をむかえるクアハウス基点は、老朽化と周辺自治体の類似施設の影響を受け利用客が減少している。このことから、最上川の景観を生かし、新たに大浴場、露天風呂、岩盤浴、サウナなどを整備し、魅力アップを図り、平成25年度の早い時期のオープンを目指し、なお一層の市民福祉向上に努める。

### 大久保小学校の改築

平成24年度から3カ年で大久保小学校を改築するため実施設計予算を計上した。このほか、東沢公園までの徳内シーボルトラインなど6路線の市道特殊改良事業等投資的事業に15億3千742万円(34.7%増)を計上したほか、楯岡小学校耐震化補強工事、子育て支援と少子化対策関連予算にも配慮した。

# 予算特別委員会

予算特別委員会を開催し、本会議で付託された平成24年度一般会計予算、国民健康保険事業特別会計予算など9件の当初予算に対する総括質疑を行いました。詳細については各分科会に付託し審査しました。

予算特別委員長 柴田好美



予算特別委員会に付託された議案は9件です。

本委員会は全体会および三つの分科会において予算編成にあたっての基本的姿勢が、過去の決算における審査報告が生かされているか、現在の財政状況に合致しているか、真に市民の理解と賛同を得るものとなっているかなどの視点で、慎重に審査を行いました。

内経済、地域経済への影響など昨今の厳しい状況のなかで編成された平成24年度予算は、市民が明るく元気になれるよう「地域生活基盤重視」の元気再生を目指したものであり、子育て・保育環境の整備、疾病予防と健康づくり、定住促進環境などを特徴とした予算として評価しています。

しかしながら歳入の減少と、歳出の増加という収支均衡を図れない状況が予想されますので、自主財源の確保をこれまで以上に議論する必要があられます。各分科会で出された意見や要望が十分に尊重され、予算の効率的な執行と適正な運用に反映されるよう望まれます。

## 審査で出された 主な要望・意見

### 総務分科会

- 公共交通事業については、市民課、企画財政課連携し地域の実情、費用対効果に配慮し新たな交通システムの構築を望む。
- 総合行政情報システムについては、専門的知識を有する職員の育成に努めながら部署横断での推進をはかるべき。
- 楯中の跡地分譲等の市の重要事業については、専門的な知識を有するシステムづくりを強力に推進されるよう要望する。

### 文教厚生分科会

- 市民の健康づくりを評価。基点温泉浴場新築は

### 産業建設分科会

- より良い事業実施を望む。
- 子育て支援医療事業・環境整備・特定検診、がん検診対象者35歳までの拡大は評価し、乳がん検診を40歳以下まで拡大することを要望する。
- 消防団員確保対策に、署・団の退職者で予備消防隊の設置を要望する。
- 入札時の仕様書作成は透明性を図るための審査検討機関の設置、人材育成を要望する。
- 鳥獣害防止については電気柵が効果的なので国県への支援を望む。
- 金谷工業団地北部開発の基本設計は、企業が利用しやすいように各課連携を図り、さらに新産業高校との連携も視野に入れるように要望する。
- 県の産業廃棄物税の使途については更に地元的生活環境対策事業へ導入される事を望む。
- 除雪についてはオペレーターの高齢化や資質の問題など指摘した。

## 開かれた議会を目指して

3月定例会において賛否の分れた議案についてのみ記載しました。

### 審議結果

議員名	議決結果	新市政クラブ							青風会		日本共産党 村山市議会		無党派		賛	反				
		井澤秋雄	長谷川元	長南誠	鈴木健治	大山正弘	秋葉新一	柴田好美	茨木久彌	海老名幸司	佐藤敏彦	布川淳一	佐藤昌昭	川田律子			中里芳之	森一弘	須藤和幸	能登淳一
市長 提出	平成24年度介護保険事業特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2
	平成24年度後期高齢者医療事業特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2
議員 提出	村山市市税条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2
	村山市介護保険条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2
議員 提出	「子ども・子育て新システム」に関する意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	議	2	14

正副議長及び監査委員は会派に属しません。また議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

○=可決 □=否決 ○=賛成 ⊗=反対 ⊖=欠席 ⊕=退席 ≡=議長

# ここが聞きたい！ 一般質問

## Q&A

本定例会の一般質問は  
3月6日・7日に11人の議員が行いました。  
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ & Aは議員の原稿を  
そのまま掲載しています。



須藤和幸議員  
市政方針について

**Q** 新年度予算編成の基本的な視点は。

**A** 昨年は、年明け早々から大変な大雪で、

合わせて3月11日の東日本大震災が発生し、かつてない大変な年であった。

そういう経験をふまえ、平成24年度は、明るく元気に希望のもてる年にしたいという思いで予算編成に当たったところである。

**Q** 主な事業に取り組む考え方は。

**A** 1点目は働く場所、そして安値な住宅政策、子育て支援、教育環境整備等を中心に取り組む。居住環境の整備については、楯岡中学校跡地に23区画の宅地を造成し、今年の12月頃から分譲販売をする。

2点目に、新パッケージ事業により新たに50名の雇用目標の実現に向け取り組む。合わせて、企業の設備投資への支援を強

める。3点目に、学童保育の拡大、そして医療費の軽減、疾病予防に取り組む。

**Q** 各地域計画に対する支援をどう進めていくのか。

**A** 8地域にある地域計画の特性を生かしながら予算、人も含めて応援していこうと考えている。山の内の雪まつりを見て、まつりは楽しく、そして主役は地元皆で楽しもう、そういう基本的な考えで地域を応援していきたいと感じたところである。

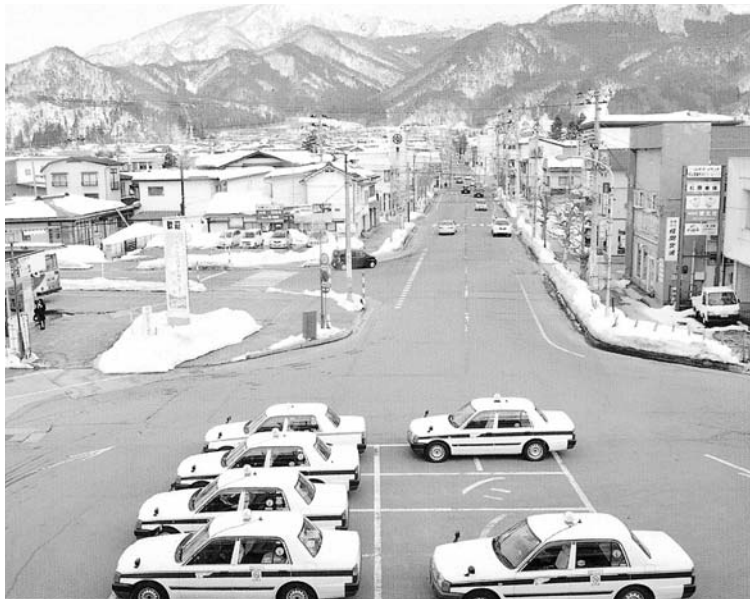


ポポーのひろば 自然体験フォーラム





## 楯岡まちづくり構想とは 大山正弘 議員



村山駅東口の活性化に向けて

**Q** 村山駅広場の東口整備計画の考え方と内容についてお聞きする。

**A** 駅前広場整備は、今年の徳内祭り終了後に工事し降雪前に完成したい。現在朝夕は特に歩行者の安全上問題があり安全性を高め、混雑する

時間帯には、タクシ一の一時駐車を遠慮してもらうようお願いしている。

**Q** 駅前周辺の活性化の取り組みは。

**A** 空き店舗を活用した雇用創出「パッケージ事業」駅前賑わいづくり、買い物弱者対策を考

え、国の事業として進めているところである。

今後は市としても力強く応援し、さらに駅前賑やかに明るくなることに考えています。また、地域雇用創出は22年23年度に100名の雇用が生まれ今年度には50名の目標にしている。今後甞葉プラザを中心に街に人を呼び込み、交流人口の増加を進める。

**Q** 今冬の市内農家への豪雪対策は。

**A** 2年続いている豪雪で農業被害で農家の方々非常に厳しい現場であると認識し、市ではできる限り支援し、営農を継続する意欲維持を図る。さらに農道除雪については、26路線についても順次開始していく。今後は農家が所有するトラクターでの除雪についても実費相当分を補助し農業被害を未然に防ぐ対策を講じたい。



## 基点温泉新浴場建設について 長南 誠 議員

**Q** クアハウス基点の浴場、約5億円かけ新築されるが、今後の方向性を聞きたい。

**A** 開館以来30年、健康づくりの拠点施設として利用され、経済効果雇用創出を果たしている。設置者市と管理運営する余暇開発公社が、任務分担を明確にし連携を取り、市民の健康保持、元氣回復の施設として利用されるよう努力していく。

**Q** 新浴場の目玉は何か。宿泊棟改築計画について聞きたい。

**A** 施設運営懇談会で出された計画案を基本に新築する。目玉は要望に沿った大浴場高・低温槽・岩盤浴場・サウナ・リラククスコーナー・介護を要する人の風呂・三難所の景観を眺める露天風呂を作る。スパプール一体として利用出来るようにする。宿泊棟も老朽化

が進んでおり、早い機会に改築を進めたい。

**Q** クアハウスは健康づくりの先駆者である。今後の健康づくりを伺う。

**A** 温泉利用型健康増進施設として厚労大臣の認定を受け、外に保養所指定も多く、今後魅力あるものに浴場建設を踏



新浴場完成予想図

まえ考えていく。

**Q** 体育館と接続した武道館建設、基点北民有地借上げについて伺う。

**A** 体育館施設として老朽化しており、24年度あり方を検討する。北側民地借用は現段階で無理。



## 空き家対策の条例制定を 布川 淳一 議員

**Q** 今冬の豪雪により建物の倒壊が各地で発生し、地域住民に不安を与えている。国や県でも対策を講じているが、村山市の現状について聞く。

①市内の空き家の実態を把握しているのか。  
②市民の不安を取り除く

ために、村山市独自の空き家対策のための条例制定を望む。

**A** ①平成19年に調査したデータがあり、合計297軒である。家屋や小屋、車庫など種別に統計を取っている。また、家の状態や所有者に連絡



道路をふさぐ倒壊した家屋

が取れるかなどの調査もしている。今冬の空き家に対する相談は26件で全て調査済みである。所有者が判る者については自己責任で処理をお願いしている。増加している空き家のデータの更新は関係課で検討する。

②当面の対応方針を作成した。県でも空き家対策検討会を設置して対処する予定なので、その動向を見ながら市の条例が必要なら検討したい。

**Q** 東日本大震災を契機に村山市の防災対策はどのように変わったのか。

**A** 避難民や放射能など未経験の事柄があり過ぎ、走りながら対応して来た。発電機購入、簡易トイレなど備蓄を進めている。震度6程度の地震を想定した地域防災計画の見直しも新年度予定している。



## 中心商店街の活性化を 井澤 秋雄 議員

**Q** 商店街の活性化は市民等しく求めている。飆葉フラザ、休憩所のある共同駐車場の整備など商店街周囲の環境は大きく変わっている。新たな補助政策である地域商店街活性化制度を活用して中心商店街の再生を目指すべきでないか。

**A** 中心商店街の活性化は重要な課題である。まちづくり交付金事業でもかなりの部分が達成できたと思っている。今後は、街づくりに対する商店街の皆さんの考え、やる気が大切である。

山大の人文学部生徒から駅前から十日町まで歩いていただき、夢を語ってもらったこともある。ワークショップ、商工会青年部など若い人の意見も聞いているところでありこれらを大事にして前向きに考えていきたい。

**Q** クアハウスの大改修にあたって新たな活用プランは。

**A** 大浴場の新設を中心とした改修により最上川三難所の自然景観を満喫できるような施設を考えたい。また、女性に人気のあるパウダールーム、スポーツジムのな

ム、スポーツジムのなコーナーも考えたい。なお、大浴場は、一方は近代的な、また一方は石などを利用した自然を感じさせる露天風呂を備え、男女が交代で利用できるような浴場をしたい。



再生がのぞまれる楯岡商店街





## 水資源の確保について

佐藤敏彦 議員

**Q** 水資源の確保について、①本市の森林の保全について、外国資本による買収、開発の心配はないか。②何らかの規制は可能か、必要はないか。③水源地となる森林や河川、農地等の総合的な整備、保全の必要性について。

そのような実態はない。②本年4月から、森林所有者になった場合、市町村に届出が必要となった。③県などの動きを見ながら、検討していく。

**Q** 2年続けての豪雪による果樹被害について、被害の状況とその対応は。

**A** 木材の自給率の向上、林道の整備などを進め、森林組合、山の所有者と連携して森林の保全を行う。①過去3年間、

**A** サクランボの雨よけハウス、園芸ハウス、合計99棟が全、半倒壊し、被害額は1千785万8千円とみている。2年続けて

の方については、市単独で支援していきたい。  
**Q** 高齢化が進む農業者の見通しと今後の対応について、①農業経営者の現状は、②今後、10年後、20年後の後継者の見通しはどうか。  
**A** ①本市の60歳以上農業従事者は、全体の約66%になっており、高齢化が顕著に進んでいる。②持続可能な農業を実現するためには、新規農業者の増加が望まれる。



水は最大の自然の恵みである（富並川風景）



## 「子ども・子育て新システム」の撤回を

中里芳之 議員

**Q** 政府の「子ども・子育て新システム」では、市町村に保育の実施義務がなくなり、保育の供給量や質は市場原理にゆだねられる。保育所に入れなくても親の自己責任となり、通える保育所も親の経済力に左右されるようになる。運営費の保障もなくなるため、人件費の切りつめで保育士の待遇が悪化し保育の質も低下する懸念がある。市として新システムをどう受け止めているか。中止・撤回を求めるべきではないか。

**A** 市として申し上げる段階ではない。子育て世帯の負担増がないことを基本に、新システムの実施にあたっては慎重に検討を重ねていく。

**Q** 子育て支援政策を周辺自治体と総合的に比較すれば本市の政策は進んでいるが、それを



市内の保育園の様子

感じてもらえなければ人口減少の歯止めにはならない。中学卒業までの医療費や保育料・学校給食費・学校徴収金の無料化、新規学卒者雇用奨励金・新規就農者支援金事業など、魅力的で目玉となる施策を。

**Q** 消費税増税は経済をどん底に突き落とし財政を悪化させる。自治体あげての反対を。

**A** 個人的には疑問もあるが注視していく。

**A** 人口減に歯止めをかけるのは厳しい。子





## 流雪溝の整備を すすめるべきでは

川田 律子 議員

**Q** 2年連続の豪雪による毎日の雪とのたたかい市民は心身共に疲労困ぱいの状況。雪おろしの担い手のない生活弱者世帯の実情を調査し、除雪支援体制を創設し、家屋の倒壊や雪おろし事故の未然防止を図るべきでは。

**A** また市内の雪のやり場のない状況を見た時、流雪溝や融雪溝の整備が必要と思うが市長の見解は。特に河島山は、最上川からも近く、農業用水の利活用も含めて取り組む考えは。

なっており今後対策を考えていく。今年も、公共施設を後回しにして、高齢者宅の雪おろしを業者に優先させた。

**Q** 国民健康保険加入者の各種検診は子宮頸がん検診を除き40歳以上が対象。自営業や農家などの若年層が健診できないよう対象年齢の引き下げをするべきと考えるがどうか。

**A** 平成24年度から国保加入者対象のがん検診の対象年齢を35歳まで引き下げる。但し乳がん検診は40歳以上のまま。

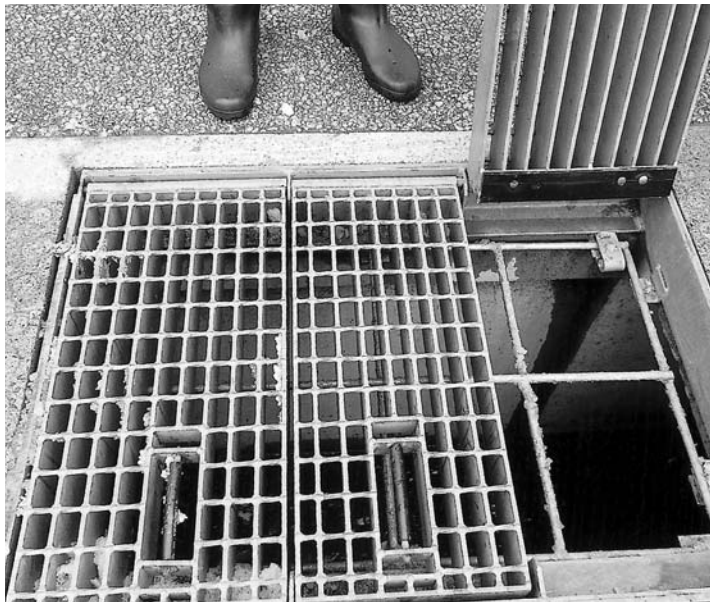
**A** 確かに不備があった。今後調査検討したい。



## 専門性の高い入札に対する 体制強化を

長谷川 元 議員

注総額が3億1千865万円にもなる多額なものだ。今後、透明性を高めるためにも専門性の高い入札に関して、チェック機関を設けるべきと考えるがどうか。



大石田町の流雪溝

**Q** 日本共産党村山市議団として何度も取り上げてきた医療費の窓口負担の軽減について、前向きに検討していると思うが。

**Q** 何故乳がん検診だけ対象年齢引き下げられないのか。北村山公立病院の鈴木医師と協力して引き下げを行うべき。

**Q** 学校教育課で行った中学校へのコンピュー

**A** 確かに不備があった。今後調査検討したい。

**A** 3月1日付で要綱を策定。所得が生活保護基準以下の世帯は免除同基準の1.2倍以下では市が独自に50%減額する。国は、入院に限定しているが、市独自で外来も対象にする。

**A** 医療機関と連携が必要だが、今後調査検討していきたい。

**Q** 学校教育課で行った中学校へのコンピュー



乳がん撲滅に尽力されている鈴木医師



## 上五十沢・湯舟沢温泉間の 林道整備取り組みを 鈴木健治議員



林道整備が待ち望まれる湯舟沢・上五十沢線

**Q** 過疎地域対策として高齢者や障がい者に優しい住みやすい環境の整備の取り組みとして、  
①道路のバリアフリー化  
②交通弱者に対する買い物困難者対策についての対応を伺いたい。

**A** 市道のバリアフリー化は、市内各地に目を配りしながら、側溝や道路の補修と合わせて進めていきたい。  
買い物困難者対策については、空き店舗の利活用を含めながら受け皿につ

いても、地域のまちづくり協議会とともに前向きに検討していきたい。

**Q** 大倉小学校の廃校後の利活用について伺いたい。

**A** 体育館は、耐震化工事も完了していることから、まだまだ利用可能な施設であり、今後地域の意向を最優先に考慮し、地域の活性化につながるような施設の利活用を検討していきたい。

**Q** 村山市の合併以来、半世紀以上の懸案事項であった、上五十沢・湯舟沢温泉間の林道整備を、有利な過疎債を大いに活用し、孤立集落支援対策の解消に向けても、検討してはどうか伺いたい。

**A** 今後、施設、森林資源の活用も含めて、総合的に検討していきたい。



## 雪対策について 海老名幸司議員



県・市・住民による共同除排雪（河島山ニュータウン）

**Q** 核家族化、高齢化の進行及び震災復興による人員、機械の流出、さらには不景気や公共事業削減により建設会社等では人員、機械の維持、確保を縮小する傾向にある、これらは今後の除雪体制に支障をきたしかねない事情がある。一方で温暖化による気象変動は、来季以降も今季のような豪雪をもたらす可能性がある。そうしたことを考えれば今季の豪雪は、市の対応の限界を超えていたと思われるので今後積雪レベルに対応した除雪体制を考えていくべきではないか。

**A** 確かに今季の豪雪は市の対応できる能力の限界を越えていたと思われるので今後どんなことができるかその対応を検討していかねなければならぬと考えている。

**Q** 住宅連担地域の除雪は除雪する上で従来は個人のモラルに頼っている部分やその他様々問題があり除雪する上で一番難しい場所と思われる。それらの問題を包括し、そして最も効果的な除排雪方法は搬雪だと思

**A** われる。ところが除雪計画では搬雪については必要な場合に「検討する」とあるのみで搬雪の体制ができていない。今後その搬雪体制をつくっておくべきではないか。  
今後、検討する。



# 主な議会活動

## 総務常任委員会

総務常任委員会は、1月23日24日静岡県富士宮市及び下田市を訪問し、デマンドタクシー、市民循環バス事業と歴史を活用したまちづくりについて行政視察を行った。

富士宮市は、市内を運行する民間のバス路線の撤退に伴い、平成20年4月から郊外の交通空白地と市街地をデマンドタクシーと中心市街地を巡回する宮バス（市営バス）運行を開始し地域交通を支え、平成23年度総務大臣賞に輝いている。バス停のオーナー制度を設け、利用者も大幅に増加し、市の負担も小さくしている。また、下田市においては、日本で

最初の開港にまつわる歴史と文化を活用したまちづくりを行っている。



静岡県下田市の研修

## 産業建設常任委員会

当委員会は、去る1月24日、26日、兵庫県加古川市、三木市、神戸市へ訪問し行政視察を行った。

加古川



兵庫県加古川市の人と防災未来センター研修

市では、「緊急雇用対策加古川農産物新需要創出事業」について視察。失業者の雇用機会の創出と、安全安心な加古川農産物に対する知名度向上と消費拡大を図ることが目的で、農畜産物の加工品の加工・販路拡大・販売のサポート・6次産業化の推進・消費拡大及び普及活動の状況の説明を受けた。

三木市では、「地域移動販売支援」について、生鮮食料品や日常生活用品の移動販売の事業者を支援し高齢者等の市民の生活を守り、利便性を確保する事業を視察。

また、神戸市では、阪神淡路大震災を記念した「人と防災未来センター」を現地視察した。

## 新市政クラブ

去る2月1日会派新市政クラブで行政視察を行った。最初に東京大学大学院農学生命科学研究科教授の本間正義氏よりTTP問題に関するレクチャーを受け、積極的な農政のあり方等について討議を行った。又総務省自治財政局長椎川忠氏及び鹿野道彦農林水産大臣に今冬の豪雪被害の現状を訴え早急な措置などを対応していただくように要望活動を行ってきた。

## 産業建設常任委員会

2月3日、市内の除雪状況について、管内視察を行った。

昨年に続く豪雪により市内全域市道（生活道）の通行の確保は、困難を極めた。金谷、笛田地区の雪捨て場、大久保地区に新設された県道の流雪溝、市内最大の積雪地区の山の内、地区あげて除雪作業を行った河島山地区内、金谷工業団地内企業の視察も行った。

## 一部事務組合議会報告

### 共立衛生処理組合

共立衛生組合議会は平成24年2月20日東根市議場で開かれた。

24年度予算は歳入歳出それぞれ前年対比18.2%減の19億2千837万2千円とした。減額の主なものはし尿処理施設工事の完了に伴うもの。

24年度市町負担金は、ごみの減量化に伴い減収が見込まれ、8億6千485万2千円となり村山市負担金は1億4千74万5千円となった。

### 北村山広域行政事務組合

3月28日、村山市議場において平成24年第1回定例会が開催された。

平成24年度一般会計予算及び構成市町の組合経費負担金について原案の通り可決した。

一般会計予算は1億2千78万5千円（前年度比17.46%減）また村山市の負担金は3千311万4千円（前年度比21.1%減）と決した。

### 広域斎場事務組合

2月23日に定例会を行い副議長選挙及び議会運営委員の選任、平成23年度第2回補正予算・平成24年度会計予算の審議が行われた。副議長選挙では大山正弘議員が選任。

補正予算は62万7千円の減額が、会計予算は9千146万4千円とする案がそれぞれ可決された。これにより村山市の負担金は前年度比3万8千円増の2千845万2千円となった。

### 北村山公立病院組合

3月26日東根市議場で開かれ、平成24年度事業会計予算、組合を構成する自治体の負担金など8議案を原案通り可決した。

年間患者数を、入院9万8千915人、外来11万7千342人と設定。事業収益51億5千589万円、費用は54億3千238万円と赤字予算とした。神経内科医1名減による外来収益の減。当市の負担金額は1億9千849万円、普通交付分を差し引いた額は5千333万円となった。

# 市民の声



村山青少年国際交流委員会理事  
佐藤 朋子 さん (楯岡)

**村**山青少年育成国際交流委員会では、主にカナダ・バリー市と村山市の高校生の交換交流をボランティアでサポートしています。

このプログラムは1997年から始まり、毎年夏休み期間を利用して高校生使節団の派遣と受け入れを交互に行っています。内容として、派遣時はバリー市内やナイヤガラ等の観光、数日間のホームステイをし、受け入

れ時にはバリーからの高校生を家に泊めて一緒に生活し、徳内まつりへ参加したりしています。

このプログラムに参加した後、海外で頑張っている仲間がたくさん居るように、10代に経験したからこそ得られることが本当に沢山あります。

私も高校時代に参加したこの活動を、社会人になった今、サポートできることに感謝しつつ、

村山の高校生の皆さんにもっとこのプログラムを知り、そしてどんどん参加してもらいたいと思います。今年は受け入れですのでカナダの高校生を泊めていただけるホストを募集中です。来年カナダに行ってみたく中・高校生のご家庭の方、ホストファミリーになってみませんか？



カナダへのホームステイ

## ぎ かいウオツェンヴ

### 産業建設常任委員会

当委員会の所管する課は、建設課、商工文化観光課、農林課、農業委員会、環境課、水道課となっています。市民生活に密着した部署が多く、現場視察が欠かせません。

委員会は予算・決算審査において担当する課の詳細な数値や事業内容について議論を重ねています。又、条例の改正や請願の審査なども付託されます。

委員 長	大山 正弘	副委員 長	佐藤 敏彦
委員	茨木 久彌	委員	森 一弘
委員	鈴木 健治	委員	布川 淳一

### 議会報告会開催します!!

議会基本条例に基づく議会報告会を開催します。全議員が2班に分かれてそれぞれ下記の日程と場所で開かれます。皆様是非ご参加ください。

- 4月26日(木) 午後7時
  - ・西郷地区市民センター
  - ・富本地区市民センター
- 4月27日(金) 午後7時
  - ・楯岡 甌葉プラザ甌葉ホール
  - ・大久保地区市民センター



### 議会の傍聴へお気軽に おいでください

議会は一般に公開され、どなたでも傍聴することができますので、お気軽においで下さい。

3月議会の傍聴者は、87名でした。  
▲市のホームページに「会議録」を掲載しています。

<http://www.city.murayama.lg.jp/O530gikaizimukyoku/index.html>  
ぜひご覧ください。

### あとがき

議会定例会が終わってひと安心できるかな？と思ったら忙しくなるのが編集委員7名。表紙を何にするか、「市民の声」を誰に依頼できるか、とディスカッションが続く。地方議会の制度も変化していくなかで、市民の皆さんに分かりやすく内容を伝えるのが、私どもの限られた時間の仕事である。(井澤秋雄)

### 議会だより編集委員会

委員 長	須藤 和幸
副委員 長	井澤 秋雄
委員	秋葉 新一
委員	川田 律子
委員	長南 誠
委員	布川 淳一
委員	長谷川 元